

学校安全指導者研修会  
 学校安全に関する課題と解決策(グループ協議会)  
 (平成26年5月22日・23日)

分類	課題	解決策
特支	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルのスリム化</li> <li>・マニュアルを今ひとつ活用しきれていない</li> <li>・マニュアルの周知・見直し</li> <li>・学校安全計画の引き継ぎ方法</li> <li>・職員一人一人の周知、活用方法</li> <li>・防災、安全マップについて</li> <li>・総合防災(避難所訓練、炊き出し訓練)のあり方</li> <li>・地域との連携の仕方(地域住民)</li> <li>・交通安全教室が未実施</li> <li>・交通安全教室のマンネリ化</li> <li>・防犯教育が不十分</li> <li>・不審者対応</li> <li>・部活動時の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルを一つにファイル</li> <li>・システム作り</li> <li>・完全版のマニュアルは管理職、3主事、生指主任、その他の教師は必要最低限のみの携帯とする</li> <li>・定期的な見直し、修正を行う</li> <li>・避難訓練時の避難場所はマニュアルに記載しているのを見るように</li> <li>・引き渡し訓練の実施 (メール、スクールバス、保護者の参加等)</li> <li>・内容を少しずつ変えての避難訓練 (炊き出し、AED訓練、PTA・保護者の参加等)</li> <li>・外部専門家(気象庁など)の活用</li> <li>・できることから(クリーンアップなど)</li> <li>・学校行事等への参加の呼びかけ</li> <li>・実態に合わせた交通安全教室の実施</li> </ul>
幼保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3領域を盛り込んだ計画が立てられていない</li> <li>・マニュアル(避難時、緊急時)の周知、確認が職員で不十分</li> <li>・マニュアルの作成と見直し</li> <li>・避難訓練がいつも同じになってしまう</li> <li>・保育内容について</li> <li>・防災教材の活用について</li> <li>・防災ずきんの管理の仕方について</li> <li>・職員数が少なく、屋外への避難には人手不足の状態</li> <li>・ガラス窓が多いため、園舎内で避難できる場所がない</li> <li>・冬期間、園舎のほとんどが雪で覆われ、避難経路の確保が難しい</li> <li>・園児の人数把握について</li> <li>・地域と連携した避難訓練について</li> <li>・通学路点検(状況の把握が甘い)</li> <li>・災害時の園児の引き渡しについて</li> <li>・保育園と合同なこともあり、引き渡し訓練を実施していない</li> <li>・保護者との連携が難しいのではないか</li> <li>・引き渡しカードは必要がないのではないか</li> <li>・保育士が受け身になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画、マニュアルの確保</li> <li>・職員全体が把握できるような体制にする</li> <li>・教員間の共通理解を深める</li> <li>・訓練が終わったらふりかえりをして課題を見つけ、それについての解決方法を見いだす</li> <li>・日頃の保育に災害時役立つ動きや活動の取り入れ</li> <li>・防災教育に通じる活動</li> <li>・防災教材を活用していく</li> <li>・できるだけ避難経路を確保する</li> <li>・地域と連携した防災訓練の実施、ネットワーク作り</li> <li>・園周辺の方々との信頼関係作り(声かけをする)</li> <li>・地域の会議、町内会へ出席して情報収集、提供する</li> <li>・一斉メールの活用とマニュアル (例:震度5以上は連絡がなくても来てもらう等)</li> <li>・引き渡し訓練の実施</li> <li>・小学校と連携をとりながらの引き渡し訓練の実施</li> </ul>

<p>小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルについて(多すぎて把握できないなど)</li> <li>・登下校時のマニュアルがない</li> <li>・安全計画のマンネリ化</li> <li>・学校安全計画がまだ確立できていない</li> <li>・教科、領域の年間計画が盛り込まれていない</li> <li>・防災教材の不足、活用不足</li> <li>・職員研修(外部の活用)が不十分</li> <li>・心のケア(指導のあり方)</li> <li>・マニュアルの共通理解不足</li> <li>・防災、安全に関する研修の機会がとれない</li> <li>・推進計画が全職員に徹底されていない</li> <li>・障害児の避難のさせ方</li> <li>・訓練をマニュアル化しすぎて判断する力が育たない</li> <li>・3領域がそろっていない、偏りがある</li> <li>・安全指導を実施する場合の指導のあり方</li> <li>・外部からのアドバイスがもらえていない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季の避難訓練が未実施</li> <li>・避難所開設訓練が未実施、マニュアルがない</li> <li>・避難所に指定されているが、収容人数、備蓄、暖房など不明・不備なことが多い</li> <li>・防災訓練の内容がうすい</li> <li>・避難訓練が授業時間のみ</li> <li>・安全マップについて</li> <li>・積雪期の避難口の確保について</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の引き渡し訓練が未実施</li> <li>・引き渡し訓練のあり方について</li> <li>・水害想定への対応が弱い</li> <li>・噴火や暴風雪等の引き渡しについて</li> <li>・災害時の引き渡しへの不安(広い学区)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急メールを登録していない家族への連絡</li> <li>・火災、地震外の対応はどうあればよいか(クマなど鳥獣)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室が未実施</li> <li>・外部講師による指導がない</li> <li>・地域との連携が弱い、合同の訓練がなかなかできない</li> <li>・地域の危険箇所が広すぎる(統合校)</li> <li>・不審者の避難訓練が未実施</li> <li>・スクールガード及びスクールガードリーダーが誰か、教師全員わからない</li> <li>・下校時の児童の様子が把握できていない</li> <li>・住宅地のため危険箇所の把握が困難</li> <li>・集団登校していない、できない子の増加</li> <li>・ボランティアの高齢化</li> <li>・防犯に関する盛り込みが少ない</li> <li>・路線バス使用児童の下校状況の把握</li> <li>・冬季の通学路の安全確保について</li> <li>・冬季の電車通学の生徒を計画へ盛り込む必要性</li> <li>・危機感が少ない</li> <li>・普段から危機管理をどのようにして植え付けていくか</li> <li>・保護者の街頭指導の協力が得られない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な見直し、修正を行う(実践に則した見直し等)</li> <li>・安全計画の定期的な見直し</li> <li>・登下校時等、様々な場面を想定したマニュアル作り</li> <li>・学校安全計画の3領域の盛り込みと教育活動全体での系統的、計画的な位置づけ</li> <li>・推進委員会を作り、組織として動く</li> <li>・職員研修を盛り込む</li> <li>・学校安全計画や危機管理マニュアルの共通理解</li> <li>・職員研修での周知確認</li> <li>・外部の専門家のアドバイスを活用</li> <li>・子どもの動きをメインにした、役立つもの見える化</li> <li>・全職員の共通理解</li> <li>・マニュアルで終わらない、実際の災害を想定しての訓練の実施</li> <li>・地域、地教と歩調を合わせたマニュアル作り</li> <li>・計画での段階で外部からのアドバイスがあればよい</li> <li>・冬季の避難訓練の実施</li> <li>・冬季電車通学の生徒の対応も計画</li> <li>・地域、行政を巻き込んでの訓練の実施</li> <li>・地域、団体、自治体との協議、連携を深める</li> <li>・避難所開設訓練の実施、対応の共通理解</li> <li>・休み時間や放課後、登下校時の避難訓練の実施</li> <li>・防災教室の開催</li> <li>・総合訓練の実施(1校だけでは難しいが)</li> <li>・夏、冬にマップの見直しをする</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き渡し訓練の実施、メール配信の活用</li> <li>・PTA、みんなの登校日、運動会などを利用</li> <li>・現実的な取り組み</li> <li>(有事の際の留め置き、PTA三役、校外指導員、保護者に迎えてきてもらうなどの確認)</li> <li>・小中連携してのネットワーク作り</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の体制作り(災害カード、調査票の記入)</li> <li>・テストメールの配信</li> <li>・何度も加入を呼びかける</li> <li>・クマ出没など、実際に行うこともあり訓練が必要</li> <li>・交通安全以外での外部専門家のアドバイスの活用</li> <li>・消防署等、外部機関や指導者の活用</li> <li>・児童、地域の方々をまきこんだ訓練の実施</li> <li>・スクールガードリーダーの活用と配置の見直し</li> <li>・スクールガードや見守り隊、地域の方々との日常交流</li> <li>・地域と連携した会議</li> <li>・集会等の場でスクールガードの紹介</li> <li>・通学路点検の実施</li> <li>・避難所としての備えの確認</li> <li>・自治体との協議、連携を図る</li> <li>・下校状況の把握(実際に歩く等)</li> <li>・冬場の下校指導</li> <li>・保護者への働きかけ</li> <li>・校外指導部の活用</li> <li>・集団での登下校の意義を植え付ける必要がある</li> <li>・抜き打ち訓練の実施</li> <li>・経験の積み重ね方の工夫</li> <li>・地震体験車、防災キャンプなど、体験的な活動の実施</li> <li>・PTAの協力体制の充実</li> </ul>
------------	---	--

<p>中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体でのマニュアル、計画の見直しが不十分</li> <li>・3領域がそろっていない</li> <li>・各指導部等で動いているため全体像が見えない</li> <li>・防災担当が一人(教頭)だけで全員研修の場を設けていない</li> <li>・計画の見直し内容が周知されていない</li> <li>・安全関係のマニュアル内容の共通理解が不十分</li> <li>・理解を図る機会や時間の確保が難しい</li> <li>・教科における防災教育の計画がない</li> <li>・短時間の指導が多い</li> <li>・教科、領域で計画的に行っていない</li> <li>・手引き、リーフレットの活用方法がわかりにくい</li> <li>・安全教育の項目の細分化が必要</li> <li>・マニュアルに対する専門家のアドバイスがほしい</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間、放課後、登下校時の対応</li> <li>・引き渡し訓練が未実施</li> <li>・緊急時のメール配信等の連絡手段の問題点</li> <li>・小規模校での連絡網について</li> <li>・災害時、通信機能が麻痺した場合の連絡、安否の確認方法</li> <li>・避難訓練の形式化、マンネリ化</li> <li>・緊急避難場所としての訓練が未実施</li> <li>・避難所開設訓練が未実施</li> <li>・電話不通時などの際の近所への伝達方法</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模校のため、全員を避難させるのに時間がかかる</li> <li>・安全確保の連絡がスムーズにいかない</li> <li>・小中併設校なので、中学生だけでなく小学生も一緒、同時の指導・訓練が必要</li> <li>・(小中併設校)小学校との連携がやや弱い</li> <li>・建物の構造上の欠点を補う避難のあり方</li> <li>・校舎の老朽化</li> <li>・財政難</li> <li>・特別支援生徒への対応</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全について(ノーヘルメットなど)</li> <li>・下校時の様子が不明</li> <li>・地域や外部機関との連携について</li> <li>・通学路の点検がない(特に積雪時)</li> <li>・学区が広く、通学路の把握が困難</li> <li>・災害時の下校方法について確認していない</li> <li>・法改正と自転車通学について</li> <li>・スクールガードリーダーを小学校に任せている</li> <li>・不審者対策、防犯への意識が低い</li> <li>・外部の人が自由に出入りできる状況</li> <li>・学校の構造上2階も侵入できる</li> <li>・計画の防犯面が弱い</li> <li>・クマ対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは常に全職員が携帯</li> <li>・マニュアルはカラーにするなど見やすく</li> <li>・マニュアルの定期的な見直し</li> <li>・マニュアルを把握しながらも、状況判断で臨機応変に動くことも意識</li> <li>・職員全体での研修の場を設ける</li> <li>・PTAを活用しての避難所開設・引き渡し訓練</li> <li>・登下校時、放課後での非常時の動きを確認</li> <li>・教育活動全体での系統的、計画的な位置づけ</li> <li>・全校体制による横断的取り組み</li> <li>・単発ではなく、教科や領域での実施を試みる</li> <li>・カウンセリングの実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉下校訓練の実施</li> <li>・休み時間や放課後など生徒が自分で非難できるような訓練の実施</li> <li>・冬季の避難訓練の実施</li> <li>・引き渡し訓練の実施(メール配信含む)</li> <li>・使える通信機器を使用する</li> <li>・保護者の連絡網を頼る</li> <li>・事前に災害時の約束事を決めておく(登校するかどうか等)</li> <li>・防災キャンプの実施</li> <li>・メール配信システムの研修等の必要</li> <li>・生徒用防災マニュアルの作成</li> <li>・緊急時の帰宅方法の確認</li> <li>・初動対応マニュアルの作成(教職員の動き、役割分担、行政との話し合いなど)</li> <li>・避難所開設のための初期対応訓練</li> <li>・近隣小学校、保育園との連携</li> <li>・安全点検カードに防災の視点を入れる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルメットの着用義務化</li> <li>・通学路の点検、写真入りマップの作成など</li> <li>・スクールガードリーダーの日常的な活用(情報交換等)</li> <li>・スクールガード、スクールガードリーダーとの連携</li> <li>・通学路の安全確保に向けた対外的行動</li> <li>・市民の声かけ運動(登下校時)</li> <li>・学校安全、防災、防犯教室の充実(内容の工夫など)</li> <li>・地域の実態に応じた訓練方法の検討(津波など)</li> <li>・地域と連携した防犯、防災会議会議</li> <li>・地域や学校における体験的な学習、見学</li> <li>・校門指導</li> <li>・学区内(中学校)での連携(学校行事絵の交流など)</li> </ul>
------------	--	--

<p>高校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルに関して外部専門家によるアドバイスを受けていない</li> <li>・マニュアルの見直しが不定期</li> <li>・計画の見直し内容が周知されていない</li> <li>・安全関係のマニュアル内容の共通理解が不十分</li> <li>・職員研修がほとんどない(救命講習程度)</li> <li>・防災教材を誰も見ていないと思われる</li> <li>・危機管理マニュアルがおそらく機能しない</li> <li>・(担当者以外の)防災意識が低い</li> <li>・学校安全計画を作っただけで終わっている(活用していない、一般職員は見る機会なし)</li> <li>・学校全体としてではなく、各分掌担当任せになりがち</li> <li>・防災教育が不十分</li> <li>・担当者の人員不足</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室で一定の効果はあるが、(自転車の)マナーの悪い生徒はまだ多い</li> <li>・防犯に対する生徒の意識が低い</li> <li>・通学路の点検がない(特に積雪時)</li> <li>・部活動後の帰宅時間が遅く、不安(特に女生徒)</li> <li>・下校時の様子が不明</li> <li>・災害時の下校方法について確認していない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き渡し訓練が未実施</li> <li>・生徒、保護者、職員の連絡方法について</li> <li>・防災訓練で地域住民との連携がない</li> <li>・避難所開設訓練の未実施</li> <li>・避難所にした場合の設備の不備や環境(老朽化)</li> <li>・食料品などの備蓄がない</li> <li>・避難所として実際に機能するのか不明(体制不備)</li> <li>・2次避難所の指定、備蓄なし</li> <li>・地域との連携が弱い</li> <li>・避難所開設訓練の予算</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の形式化、マンネリ化</li> <li>・年2回の避難訓練は実際に2回できるかどうか</li> <li>・不審者対応訓練について</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業(実習)中の事故防止について</li> <li>・明德館ビル避難訓練実施時に職員が振替のため3~4名しか参加しない、消火訓練などもできない</li> <li>・市街地の中にあるビル6階のため避難が困難</li> <li>・校舎の裏山が急な斜面で、地震や大雨発生時に崖崩れの心配がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部専門家によるアドバイスを受ける(消防、自衛隊など)</li> <li>・外部機関の活用(消防署、AED講習、警察研修など)</li> <li>・能工フォーラム(評議会、地域住民、生徒、職員による話し合い)を学校安全に生かせないか検討</li> <li>・定期的な見直し、修正を行う</li> <li>・危機管理マニュアルの手引きの活用</li> <li>・職員への周知徹底し、担当と同じ感覚、立場になるようにする(研修の充実)</li> <li>・教職員の情報共有</li> <li>・学校安全計画の共有化</li> <li>・安全教育の項目の細分化</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の意識を変えるための効果的な指導の検討</li> <li>・スクールガード、スクールガードリーダーとの連携</li> <li>・通学路の安全確保に向けた対外的行動</li> <li>・街灯を要望し、設置してもらった</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き渡し訓練の実施(メール配信含む)</li> <li>・メールシステムの登録</li> <li>・避難所開設訓練を地域と連携して実施</li> <li>・備蓄品の準備を地域と連携して実施</li> <li>・県や市の防災教育系予算を活用して備品の充実へ</li> <li>・施設、設備の毎日の点検</li> <li>・新体育館、実習棟の建設</li> <li>・避難経路のわかりやすい掲示</li> <li>・地域住民の避難訓練参加</li> <li>・生徒のボランティア活動</li> <li>・PTA、地域の協力</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急地震速報対応行動訓練の実施</li> <li>・避難訓練の実施時期の見直し(冬季、避難経路)</li> <li>・抜き打ちでの訓練の実施</li> <li>・避難訓練の工夫(教師や生徒の自主性を高めるには)</li> <li>・生徒主体の避難訓練、避難所の運営訓練</li> <li>・生徒向けのAEDや救急救命講習の実施</li> </ul>
--	---